

(2) 成長の機会を自ら生み出す主体性が大切

そのような自覚を持った上で、ビジネスパーソンとしての観点から必要とされる意識や意欲、さらには行動について具体的に考えてみると、さらに多くのものが必要とされています。

現代のビジネス社会では、情報化の加速・グローバル化の進展・マーケットニーズの多様化など、まさに激動の日々が続いています。職場を取り巻く一連の環境変化に気づき、理解して対応する能力も求められていることは言うまでもありません。しかもそのような中で、ビジネスパーソンとして周囲と協働しつつ自らの成長を実現させていくためには、仕事での経験を通じて学び取っていくことが不可欠となります。

まず、周囲と協働して仕事を進めていくためには、コミュニケーション能力が必要となります。自分の考えや意見をわかりやすくしっかりと伝えることができると同時に、相手の意向を受け止めて理解することがその前提となります。表面的な会話がスムーズにできることがコミュニケーションではなく、相手との意思疎通がしっかりと取れて相互理解が図れることがコミュニケーション能力といえます。また、指示を受けて動くといったような受け身ではなく、自ら働きかけて情報発信していけるような主体性もビジネスパーソンにとっては大変重要なスタンスです。

職場では、仕事を通してさまざまな経験をすることになります。知識やスキルが高まることで感じる成長実感、成果を収めることで自信にもつながる達成感や充実感など、得るものがとても多いことは明らかです。得るものをより多くするためにも、仕事を与えられることを待つのではなく、積極的に仕事にチャレンジして少しでも多くの仕事を経験して、成長の機会を自ら生み出していかうとする主体性こそが大切です。